

ぶどう凍霜害対策

JA 中野市 園芸課

4/22 朝から 25 日朝まで夜間の最低気温が 0°C の予報となっております。
つきましては、以下の対策をご検討いただきますようお願いいたします。

1. 危険温度について

展葉期は-1°C以下を 1 時間以上で凍霜害の発生が心配されます。

ここしばらく予報温度を下回る低温が観測されていますので、注意して下さい。

進んでいる露地ぶどう、雨よけ栽培は被害が予想されます。

2. 事前対策（できる範囲で努めてください）

- 地温を温める
 - ・短めに草を刈る。
 - ・被害が予想される前日にかん水を行う
 - ・敷き藁は早くしない。 ⇒ 地温が高くなるらないため

- 防霜資材の散布

- ・フロストバスター 500 倍（使用方法は別紙参照）
- ・霜ガード 50 倍

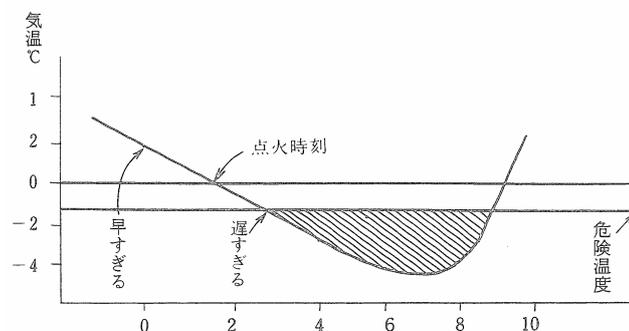
展着剤にアビオン-E 使用。心配な日の前日午後 3 時頃までに散布。（あたたかい空気をゼオライトによって保持するため）

3. 当日対策

- 燃焼資材の使用（詳しくは別紙参照）

- ・防霜ロック 資材店で取り扱いがあります
- ・ペール缶 各自ご用意ください
- ・オイルヒーター 資材店で取り扱いがあります

燃焼資材の使用タイミングについて
外気温が0°Cの頃に点火する。



- 防霜ファン（設置してあれば）作動点検してください。

- 雨よけ栽培の対応について

共通の対策：燃焼資材が使用できる場合は、燃焼資材を使用して保温に努める。（サイドがある場合はハウスを締め切り保温に努める）

◎サイドありの雨よけの場合

・ 冷気の溜まる傾斜の下側は必ず開けて冷気が逃げるようにする。

※数年前に締め切った畑の冷気たまるところで凍霜害が発生したので、前回被害があった園は特に注意をする

◎上のみの被覆の場合

谷間を閉め、燃焼資材に点火して保温できるよう努める。

4. 事後対策

凍霜害は被害を受けた日から2～3日経過した後の芽の枯れ具合を確認しながら行う。

①枯死した芽は早めに芽かきを実施し、副芽の伸長を促す。

②芽かき終了後、下記の葉面散布剤のどちらかを使用し発芽の促進をする。

資材名	散布倍率	散布時期
メリット青	300 倍	展葉 2～3 枚頃・展葉 6 枚
オルガミン	1,000 倍	展葉 2～3 枚頃・展葉 6 枚